

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年 4月 26日
研究終了日	2029年 3月 31日 まで
研究の名称	傍腎動脈腹部大動脈瘤に対するChimney EVAR(endovascular aortic repair)の有用性の検証:中・長期成績の評価
研究対象	<p>腎動脈下腹部大動脈瘤は腹部大動脈瘤全体の約8割であり、開腹手術・ステントグラフト手術ともに、良好な成績を得ている。一方、傍腎動脈腹部大動脈瘤(Juxtarenal abdominal aortic aneurysm: JRAAA)は全体の1割程と少ないものの、腎動脈や上腸間膜動脈といった内臓への血管の再建が必要となるため、開腹手術の死亡リスク・合併症リスクは、現在でも解決すべき課題となっている。</p> <p>JRAAAに対するステントグラフト手術の内、chimney EVARがあり、良好な早期成績が既に報告されている。Chimney EVARの中・長期生成期に関しては、現在明らかになっておらず、今回、当院におけるChimney EVARの中・長期成績を後方視的に評価する事が目的である。</p>
対象材料	診療記録
対象期間	2022年1月～2023年12月
研究の目的意義	<p>JRAAAに対するChimney EVARは、開腹手術で問題となる手術侵襲を改善することが期待される。</p> <p>すでに良好な早期成績は報告されており、当院におけるChimney EVARの中・長期成績を後方視的に評価する事が目的である。</p>
方法	EVAR術後のフォローアップのために実施している、定期的な造影CT検査、血液検査の結果を用いて、長期成績を評価する。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報、電子カルテ内のみで安全に管理しており、個人情報が外部に流出することはなく、研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先(研究責任者)	市立豊中病院 心臓血管外科 後藤 隆純 TEL06-6843-0101